

「鶴岡市立荘内病院3カ年運営計画」
「鶴岡市立荘内病院3カ年運営計画 実施計画」
(令和3年度～令和5年度)

令和3年度事業実績の自己点検・評価報告書

令和4年10月
鶴岡市立荘内病院

1 鶴岡市立荘内病院3カ年運営計画の自己点検及び評価について

「鶴岡市立荘内病院3カ年運営計画」の実施状況については、毎年度、点検・評価を行うこととしていることから、令和3年度の決算に基づく数値目標の達成状況及び事業実績に関して、院内の担当部署が自己点検・評価を行いましたので、その結果を報告します。

なお、評価については、原則、以下の基準により行っています。

評価	評 価 基 準	
	数値目標がない場合	数値目標がある場合
A	計画・目標を十分達成し成果が得られた	100%以上の達成率となった場合
B	計画・目標は概ね達成された	80%以上～100%未満の達成率となった場合
C	計画・目標はある程度達成された	50%以上～80%未満の達成率となった場合
D	計画・目標は一部達成された	20%以上～50%未満の達成率となった場合
E	計画・目標はほとんど未達成である	20%未満の達成率となった場合

注) 達成率の算出方法

- ・計画値を超えることが望ましい項目 … 「実績／計画×100」
- ・計画値を超えないことが望ましい項目 … 「(1 - (実績 - 計画) / 計画) × 100」

2 経営指標に係る数値目標の達成状況及び評価

①令和3年度の決算状況

- ・ 収益的収入支出

(税込、単位：百万円)

区 分	R2年度 決 算	R3年度 決 算	増 減	
			金額	率(%)
病院事業収益	12,796	13,292	496	3.9
医業収益	10,060	10,432	372	3.7
入院収益	7,101	7,178	77	1.1
外来収益	2,451	2,681	230	9.4
その他医業収益	508	573	65	12.8
うち他会計負担金	209	215	6	2.9
医業外収益	2,428	2,489	61	2.5
うち他会計負担金	735	773	38	5.2
うち長期前受戻入	700	455	△245	△35.0
看護学校収益	99	116	17	17.3
うち他会計負担金	85	103	17	20.3
特別利益	209	255	46	22.1
病院事業費用	12,364	12,500	136	1.1
医業費用	11,795	12,140	346	2.9
給与費	6,668	6,826	158	2.4
うち基本給、手当、賃金等※	6,248	6,412	164	2.6
※うち退職給付引当金	246	246	0	0.0
材料費	2,282	2,411	129	5.7
経費	1,859	1,956	97	5.2
減価償却費	793	711	△82	△10.3
資産減耗費	9	45	36	419.3
うち固定資産除却費	7	43	36	548.0
研究研修費	184	192	8	4.4
医業外費用	260	242	△18	△6.9
看護学校費用	100	117	17	17.3
特別損失	209	0	△209	皆減
経常損益	432	537	105	24.3
純損益	432	792	360	83.3

※に退職給付引当金を含む

・ 資本の収入支出

(税込、単位：百万円)

区 分	R2年度 決 算	R3年度 決 算	増 減	
			金 額	率(%)
資本の収入	1,343	1,164	△179	△13.3
企業債	354	326	△28	△8.0
補助金	74	9	△65	△87.7
他会計負担金	913	817	△96	△10.5
長期貸付金返還金	0	10	10	皆増
基金繰入金	2	2	0	0.0
資本の支出	1,766	1,690	△76	△4.3
建設改良費	579	355	△224	△38.6
施設整備費	150	114	△36	△24.2
機器整備費	428	240	△188	△43.9
リース資産購入費	1	1	0	27.3
企業債償還金	1,173	1,319	146	12.4
長期貸与金	14	14	0	0.0
基金積立金	0	0	0	0.0
看護学校整備費	0	2	2	皆増
資本の収支差引	△423	△526	△103	24.4

・ 実質の収支等

(単位：百万円)

区 分	R2年度 決 算	R3年度 決 算	増 減	
			金 額	率(%)
実質の収支	367	578	211	57.5
年度末内部留保資金	1,831	2,387	556	30.4
累積欠損金	11,963	11,169	△794	△6.6
企業債残高	12,592	11,599	△993	△7.9
一般会計繰入金計	1,942	1,908	△34	△1.8

② 財務に係る数値目標及び評価

(単位：％・円)

項目	H30年度 実績	R1年度 実績	R2年度 実績	R3年度 計画	R3年度 実績	達成率	評価
経常収支比率	99.6	98.0	103.6	99.3	104.3	105.0	A
経常収支比率(退職給付引当金除く)	101.6	100.0	105.8	101.3	106.5	105.1	A
医業収支比率	87.4	86.6	85.3	88.7	85.9	90.1	B
医業収支比率(退職給付引当金除く)	89.2	88.4	87.1	90.5	87.7	96.9	B
入院診療単価	49,406	52,801	54,554	56,402	54,557	96.7	B
外来診療単価	14,671	14,809	15,148	15,019	15,424	102.7	A
病床利用率	83.3	76.9	69.8	74.8	70.5	94.3	B
医業収益に対する職員給与費比率	55.7	58.4	62.1	59.7	61.5	97.0	B
医業収益に対する職員給与費比率※	55.4	56.1	59.7	57.4	59.1	97.0	B
医業収益に対する材料費比率	22.9	21.8	22.7	21.7	23.1	93.5	B
医業収益に対する経費比率	16.9	17.3	18.5	18.2	18.7	97.3	B

【各指標の概要】

○経常収支比率：(経常収益)／(経常費用)×100

医業費用、医業外費用に対する医業収益、医業外収益の割合を表し、通常の病院活動による収益状況を示す指標。100%以上の場合は、単年度の収支が黒字であることを示し、100%未満の場合は、赤字であることを示す。

○医業収支比率：(医業収益)／(医業費用)×100

病院の本業である医業活動から生じる医業費用に対する医業収益の割合を示す指標。数値が高いほど、医業活動における経営状況が良好であることを示す。

○入院診療単価：入院収益／入院患者数

入院患者への診療に係る収益について、入院患者1人1日当たりの平均単価を示す指標。

○外来診療単価：外来収益／外来患者数

外来患者への診療に係る収益について、外来患者1人1日当たりの平均単価を示す指標。

○病床利用率：年延入院患者数／年延病床数×100

病院の施設が有効に活用されているか判断する指標。当該指標が低い場合、病床数に見合う職員配置による経費が生じているにもかかわらず、それに相応する診療収入が得られず、経営悪化の要因となる。

○医業収益に対する職員給与費比率：職員給与費／医業収益×100

医業収益の中で職員給与費が占める割合を示す指標。病院は人的サービスが主体となる事業であり、職員給与費が最も高い割合を占めるため、職員給与費をいかに適切なものとするかが重要なポイントである。

○医業収益に対する職員給与費比率※：（職員給与費－退職給付引当金）／ 医業収益

○医業収益に対する材料費比率： 材料費／医業収益×100

医業収益の中で材料費が占める割合を示す指標。薬品費等を含む材料費は、費用のうち職員給与費に次いで高い割合を占める要因の一つである。

○医業収益に対する経費比率： 経費／医業収益×100

医業収益の中で経費が占める割合を示す指標。

※「退職給付引当除く」については、H26 新会計基準適用により、過去分退職給付引当金を15年間給与費に計上しており、経営に与える影響が一時的に大きくなることから、除いた場合の指標を記載しているもの。

③ 医療機能に係る数値目標及び評価

(単位：人・%)

項目	H30年度 実績	R1年度 実績	R2年度 実績	R3年度 計画	R3年度 実績	達成率	評価
一日平均入院患者数	426	393	357	382	360	94.3	B
一日平均外来患者数	690	693	666	691	718	103.9	A
年間延べ入院患者数	155,397	143,775	130,126	139,430	131,527	94.3	B
年間延べ外来患者数	168,262	167,060	161,719	167,222	173,726	103.9	A
救急患者数	16,512	16,061	13,857	14,835	19,417	69.1	C
手術件数	2,817	3,433	3,325	3,341	3,489	104.4	A

※ 達成率： 実績／計画×100

※ 救急患者数については、計画値を超えない方が良い。達成率＝(1－(実績－計画)／計画)×100

3 数値目標達成に向けての具体的取り組みの評価

荘内病院3カ年運営計画各事業の令和3年度実施状況に係る自己評価総括表

実 施 項 目	No.	R3年度 評価	評価 調書 の頁
(ア) 医療機能充実			
①救急医療体制の整備			
1 救急医療機能分担の推進	1	B	P8
2 災害拠点病院機能の整備・充実	2	A	P9
②高度医療の推進			
1 がん診療の機能整備	3	B	P10
2 国立がん研究センター東病院との診療連携の推進	4	A	P11
③地域医療連携の推進			
1 地域医療支援病院機能の充実	5	B	P12
2 地域連携パスの円滑な運用	6	A	P13
3 緩和ケアサポートセンター機能の充実	7	A	P14
4 地域包括ケアシステム構築の推進	8	A	P15
④その他の診療体制			
1 人間ドック体制の検討	9	A	P16
2 オンライン診療の検討	10	A	P17
⑤設備投資			
1 施設整備	11	A	P18
2 医療機器整備	12	A	P19
3 統合医療情報システム整備	13	A	P20
(イ) 質の高い職員の確保・育成			
①専門性向上のための人材の確保			
1 医師の確保	14	B	P21
2 医師の処遇と労働環境の改善	15	B	P23
②臨床研修の充実・強化			
1 臨床研修医の確保	16	A	P24
2 臨床研修運営体制の強化	17	B	P25
③専門性及び医療技術の向上			
1 職員資質の向上	18	A	P26
④働きやすい環境の整備			
1 職場環境の充実	19	B	P27
2 院内保育の充実	20	A	P28

実 施 項 目	No.	R3年度 評価	評価 調書 の頁
(ウ) 安全・安心な医療の提供			
①患者本位の医療の提供			
1 インフォームド・コンセントの徹底	21	A	P29
2 個人情報保護の徹底	22	A	P30
②医療安全対策の充実			
1 医療安全の充実	23	B	P31
2 院内感染対策の徹底	24	A	P33
3 新型コロナウイルス感染症への的確な対応	25	A	P35
③医療の質の向上			
1 DPC分析による最適なクリニカルパスの作成と活用の推進	26	A	P36
2 病院機能評価の受審	27	B	P37
④患者サービスの向上			
1 外来の待ち時間短縮	28	A	P38
2 病院ボランティア活動の支援・推進	29	A	P39
3 接遇の向上	30	A	P40
(エ) 安定した経営基盤の確立			
①収入の確保			
1 新たな施設基準、加算、機能評価係数の取得	31	A	P41
2 診療報酬請求の適正化	32	B	P42
②未収金の早期回収と発生防止			
1 未収金の発生防止と早期回収の徹底	33	B	P43
③病床機能の見直し再編			
1 病床機能の見直し再編	34	B	P44
④職員給与費の適正化			
1 職員給与費の適正化	35	A	P45
2 人材の有効活用及び業務の効率化	36	B	P46
⑤経費の削減			
1 医薬品費の削減	37	A	P47
2 診療材料費の削減	38	A	P48
3 光熱水費の削減	39	B	P49
⑥全員参加の病院経営			
1 経営情報と経営改善意識の共有	40	B	P50

令和3年度	評価結果
全40項目中	A評価 25項目 (62.5%)
	B評価 15項目 (37.5%)
	C評価 0項目 (0.0%)
	D評価 0項目 (0.0%)
	E評価 0項目 (0.0%)